

区立保育園看護師発 今月のテーマ

♥ カビがからだに与える影響（エアコン編）♥

エアコンを使う機会が増えるこの季節は、エアコン内の結露により湿気がたまり、カビが発生・増殖しやすい環境にあります。そのまま使用するとカビを吸い込み、ぜん息やアレルギー性鼻炎、夏型過敏性肺炎などの病気に罹ってしまう可能性があると言われています。

エアコンを清潔に保つよう、心がけましょう。

★夏型過敏性肺炎とは・・・カビを吸い込んでから数時間後に、咳や痰、悪寒、頭痛、発熱、呼吸困難などの症状が現れます。家や職場など特定の場所だけで症状のあるときは、この病気の可能性があります。



<カビを増やさないために>

発生条件の「温度」「湿度」「ホコリ・汚れ」の3つを断ちましょう。

- 1 温度 25~28度、湿度 70%以上を好み、高温多湿になると急速に増殖します。除湿・定期的な換気を心掛けましょう。
 - 2 エアコンのフィルターに、ホコリやハウスダストが付着していると、カビの栄養源となり増殖してしまうことがあります。こまめに掃除をしましょう。
- ※ エアコンの他、お風呂場や洗濯機周り、押しこれなど、湿気のたまりやすいところも注意が必要です。

咳や息苦しさなどの症状が治まらない、長く続く場合は早めに主治医に相談しましょう。

大田区の感染症情報

6月1日~6月24日

地域 疾患名	大森	調布	蒲田	糀谷 羽田
感染性胃腸炎	12	12	15	13
RSウイルス感染症	11	4	27	19
ヒトメヌコウモリ似感染症	1	13	0	0
手足口病	15	1	3	18
咽頭結膜熱	4	0	5	6
アデノウイルス感染症	1	8	4	0

昨年の春先から7月は、RSウイルス感染症の流行が見られました。今年も6月に入り多くなってきています。



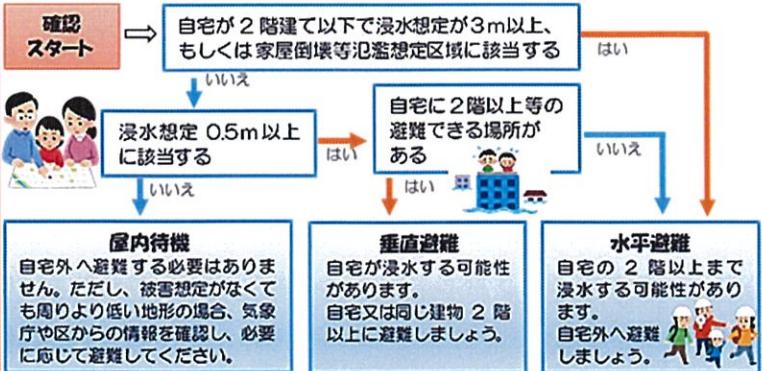
学校等欠席者・感染症情報システムを活用して、区内の感染症の流行状況等を地域ごとにお知らせします。

子育てアラカルト(区内共通)



<風水害の対応>

風水害が予測されるときは、フローチャートを参考に避難を検討しましょう。特にお子さんのいるご家庭は、明るいうちの避難を心がけましょう。



*詳しくは大田区防災ポータル>ハザードマップ（風水害版）をご覧ください